

令和2年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第3回市民啓発部会を開催しました



○1月29日（金）にオンライン会議にて、第3回市民啓発部会を開催しました。参加者は、部会メンバー6名と事務局4名でした。

○前回の部会のまとめを基に振り返りを行ったあと、具体的な啓発方法や内容について一人一案ずつ持ち寄り、検討を行いました。

○各委員の意見より

【啓発内容について】

- 広く継続的に啓発を行うことが必要。
- 地域包括支援センターのPR。
- 「今後も働き続けるためにも包括へ相談しましょう」という内容を啓発してはどうか。
- 包括のネーミングが長いので、端的に説明できるとよいのではないか。

【啓発方法について】

- ポスターやチラシを作り、チラシは見たい人には直接手渡せればよい。
- 市のホームページなどに啓発物を掲載できるとよい。
- それぞれの自分の職場のホームページ等にリンクを貼ればよいのではないか。
- 市で一斉に手紙などを配布する機会があれば、

ば、その手紙に同封できないか。

- 講師を招いてのシンポジウムや、昨年度のパワーポイントを使った出前講座。
- 動画やDVD、マンガなど若い世代の人も読めるものがよい。
- QRコードについているチラシを作成し、町内会等に配布してはどうか。
- Facebook等の活用。

事務局より、各地域包括支援センターですでに作成しているそれぞれのチラシについて紹介。部会の目標について改めて共有を行い、各委員の意見を基に啓発内容と方法について協議を行いました。

【対象】

- 40～60歳代の世代。

【内容】

- まずは親の世代のACP(親の介護や看取りをどうするか)というところから入り、自分自身の今後の人生についても考える機会を持ってもらう。

【方法】

- マンガ等のストーリー性のあるものを啓発媒体として使用する。今回出た意見を基に、内容については今後更に検討する。作成した啓発物については、市ホームページ等でも掲載する予定。